

R8美野里地区小中一貫教育の取組

教科・領域	数値目標	目標値を達成するための手立て	今後の予定
算数・数学科	・算数・数学の授業の内容は、よく分かる。 80%以上	・振り返る内容を定めた授業づくり （授業の目標と問題から、振り返る内容を定めて授業をつくる。）	・振り返る内容の定め方についての研修会 ・月一回の報告を各校に依頼（C4 t hにて）
国語科	・授業が分かる 80%以上 ・授業が楽しい 80%以上	・授業のはじめに音読を1分程度行う。 ・朝読書などの読書時間の確保。	・音読はすべての授業でできるだけやる ・小中の担当で情報交換の機会を生み出す。 （計画訪問や6年生の担任からの聞き取りなど）
外国語科	・授業が分かる 80%以上 ・授業が楽しい 80%以上	・授業動画の共有し、学びのつながりを確認する。 ・書く力を付けるために、フォニックスを取り入れる。 ・ハートコーポレーションに要望を伝える。	・授業動画の共有（小の高、中）ドライブか市内共通にフォニックスの共有、導入を進める。 ・9、2月にアンケートを取る。
理科	・授業が分かる 80%以上 ・授業が楽しい 80%以上	・児童生徒の気付きや問いをもとにした問題（課題）の設定 「〇〇だろうか？」等の疑問形にする。 ・身の回りの現象や日常生活、自然や社会の事象・現象について、科学的に分析する機会をつくる。 ・実物を見る・触れるを重視	・9月から各校で実施する。
社会科	・授業が分かる 80%以上 ・授業が楽しい 80%以上	・資料の読み取り方を指導し、社会科の見方考え方を育むとともに、社会科の面白さを実感させる。 ・特にグラフの数値の変化を取り上げ、変化の様子と関連する事項を照らし合わせて考えさせる授業	・学期に1度は、資料に読み取りに特化した授業を行う
情報教育科	・ICTを活用しながら学ぶことができた 70%以上	・小学校：調べる・まとめる活動を行う。 ・中学校：比較・分析・発信（プレゼン）を行う。	・9月と2月に状況確認のアンケートをとる。 （c 4 t hにて）
生徒指導	・学校見学 年1回	・1 2月に中学校見学を実施。 ・生徒指導に関するきまり（校則）を交換し、内容を確認した。	・校則の改正検討時に情報を共有する。 ・生徒指導主事は研修等で顔を合わせる機会が多いので、その都度情報共有を行う。 ・教務主任会時、美中学区5校で情報共有を行う。
特別活動	・あいさつ運動（1回） ・中学校見学会（1回）	・11月に各校であいさつ運動を実施する。（時期をそろえて） ・学級活動における「話合いの進め方」を小学校で指導し、中学校へつなげる。 ・6年生を対象とした、小ー中間での中学校見学、生徒会主体による学校説明を通じた交流を行う。 ・中学校の生徒指導主事が小学校に訪問し、交流を行う。	・あいさつ運動の時期について、各校担当と連絡調整する。 ・「話合いの進め方」を小学校間で共有し、年度内にそれを活用して話合いが進められるよう、指導していく。 ・中学校見学、生徒指導主事の小学校訪問については、例年通り実施できるよう調整する。
保健体育科	・体力テスト A+Bの割合 60%以上 ・体力テスト D+Eの割合 20%以下	・各校の体力アップ推進プランに基づき、体力テストで落ち込んでいる体力の向上策を講じる。（授業開始時のサーキットなどでの基礎力アップ）	・各校の体力向上策で効果的な取組等、クラスルームで共有する。 ・中学までを見通して、各学年で身に付けるべき内容をしっかり指導する。
総合的な学習	・体験的な学習を取り入れた回数（1回以上／年） ・講師を呼んだり校外学習をしたりした回数（最低どちらか1回以上／年）	・探究的な学びの実施	・各校の年間指導計画の共有
キャリア教育	・将来の夢や目標をもつことができた80%以上	・学級活動や総合的な学習の時間に、将来の夢や進路について話し合う活動を取り入れる。 ・地域人材や職業講話等を活用し、働くことや社会とのつながりについて考える機会を設定する。	・児童生徒が自分の目標や成長を実感できるよう、キャリアパスポートの効果的な活用方法について小中で共有する。